

兵庫地区における渋滞対策の対応方針(案)について

平成25年8月13日

前回からの変更点(案)

<対応方針に関する主な変更点>

項目		第1回協議会資料	第2回協議会資料
1.エリアの概況	地域特性及び道路交通状況	地域特性と道路交通状況を一連の流れで記載	「地域特性」と「道路交通の状況」を分割し、よりわかりやすい記載とした
2.現在の主な対策等	総合対策等	道路管理者の意見に基づく対策について記載	実施中の対策の位置づけを明確にするため、「都市計画区域マスタープランに記載されている事業」と「それ以外の事業」に分けて記載
3.エリアの主要渋滞箇所と対策案(図面)	オレンジ矢印等(現状課題)	主要渋滞箇所や区間の範囲に加え、現状課題に関する交通流動の方向等も含めて広域的に表示	交通流動と現状課題が同じ凡例で表示されており、わかりづらいつの指摘があったため、主要渋滞箇所や区間等の現状の課題のみをオレンジ矢印で表示
	青矢印等(対策)	基本的に、事業区間を青矢印にて記載し、交差点改良等に関しては青の点線枠にて記載	交差点改良等を個別に記載していたことにより表示が複雑となり、わかりづらい表示となっていたため、記載方法を変更
	旗あげ	渋滞の発生状況(局所か区間全体か)、渋滞要因、対策の方向性について記載	現在の主な対策等の整理及び渋滞要因の分析を進めたことから、より要点を絞り記載した
対応方針		「2.現在の主な対策等」に記載された取り組みを集約して記載	今回整理した「現在の主な対策等」を対応方針に反映

兵庫県全体における渋滞対策の対応方針について(案)

検討経緯

- 兵庫県における道路の渋滞対策を効率的に進めていくために、「兵庫地区渋滞対策協議会」※(以下「協議会」)において、道路利用者の皆様が実感している渋滞箇所等を「地域の主要渋滞箇所」としてH25.2に選定しました。
- この度、「地域の主要渋滞箇所」に対する渋滞対策の対応方針を「協議会」にて検討し、とりまとめました。

※「兵庫地区渋滞対策協議会」の構成員

兵庫県道路利用者協会、兵庫県商工会議所連合会、(公社)ひょうごツーリズム協会、国土交通省近畿地方整備局、国土交通省神戸運輸監理部、兵庫県警察本部、兵庫県、神戸市、西日本高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社

H24.7 第1回協議会

H24.8 第2回協議会

H24.11 第3回協議会

H25.2 第4回協議会

地域の主要渋滞箇所選定

渋滞対策の対応方針

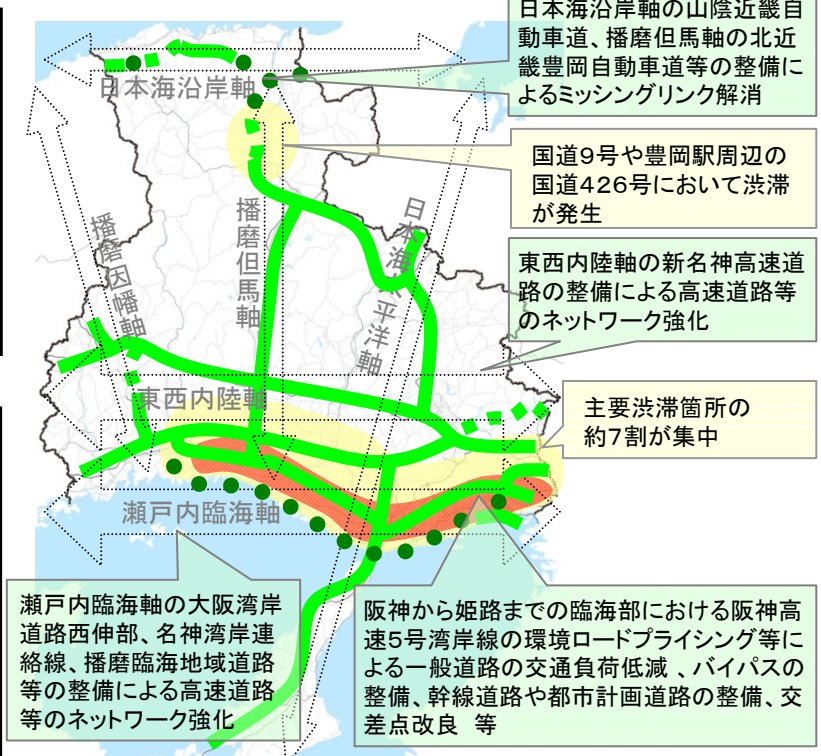
1. 兵庫県の概況

	概要
県域特性及び道路交通状況	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫県の人口は全国第7位であり、阪神(神戸)港の貿易額は全国で第4位の規模を誇るなど、瀬戸内海臨海部を中心に工業や商業が集積して都市圏が形成されています。また、県内には全国有数の観光地が点在しており、北部地域においても豊岡市等の観光産業を軸とした中核都市が形成されています。 兵庫県の道路交通網の骨格は、3つの東西方向軸と3つの南北方向軸の高速道路網で構成されていますが、東西内陸軸や瀬戸内臨海軸を構成している中国自動車道、山陽自動車道、阪神高速3号神戸線等において交通集中による渋滞が発生しています。 一般道においては、市街地が発達した瀬戸内海臨海部で、主要渋滞箇所の7割が集中しています。また、北近畿豊岡自動車道の端末から以北を繋ぐ国道9号や豊岡駅周辺の国道426号において、限られた幹線道路に地域内交通と通過交通が集中し、交通渋滞が発生しています。

2. 方向性

	概要
総合対策等	<ul style="list-style-type: none"> 一般道の主要渋滞箇所の内7割が集中する瀬戸内海臨海部、及び北近畿豊岡自動車道の端末から以北を繋ぐ但馬エリアでの渋滞箇所に着目し、詳細な要因分析を進め、交通渋滞軽減を推進します。 (ソフト対策) 公共交通の利便性向上や環境ロードプライシング等のほか、高速道路への交通の誘導・分散化の推進により一般道路の交通負荷低減を検討 (道路整備) 新名神高速道路、大阪湾岸道路西伸部、名神湾岸連絡線、播磨臨海地域道路等の整備による高速道路等のネットワーク強化、北近畿豊岡自動車道、山陰近畿自動車道の整備によるミッシングリンクの解消、バイパス等の幹線道路や都市計画道路の整備、交差点改良 等

3. 兵庫県全体における対応方針



対応方針

- 主要渋滞箇所が集中する瀬戸内海臨海部においては、公共交通の利用促進等の自動車利用を抑制する各種施策や、高速道路ネットワークの整備やボトルネック交差点の改良等、交通容量の拡大や交通の円滑化を図る取り組みを進めるとともに、ソフト・ハードを含めた更なる渋滞対策の検討にあたっては、地域・地形等の特性から3つのエリアに分割し検討を進めて参ります。
- また、但馬エリアでは公共交通の充実を図り、その利用を促進する取り組みのほか、高速道路ネットワークの強化やバイパス整備等の幹線道路機能を強化する取り組みを進めるとともに、ソフト・ハードを含めた更なる渋滞対策の検討を進めて参ります。

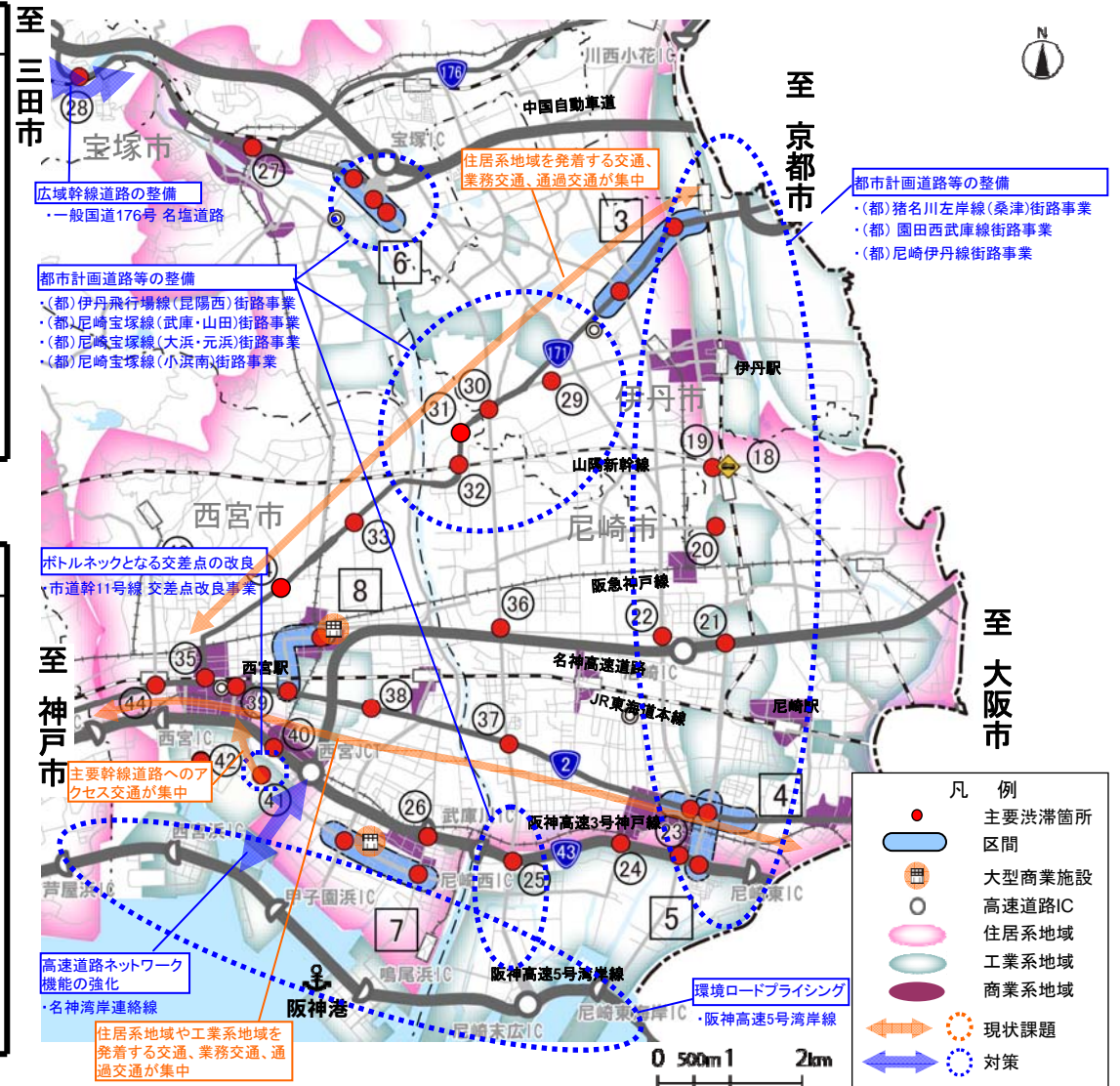
※「渋滞対策の対応方針」に盛り込まれている対策事業はエリア内に限定したものであり、兵庫県におけるすべての対策事業を盛り込んでいるわけではありません。

地域別(西宮・尼崎エリア)における渋滞対策の対応方針について(案)

1. 西宮・尼崎エリアの概況

概要	
地域特性及び道路交通状況	【地域特性】 ・西宮・尼崎エリアは、大阪市、神戸市、京都市へ向かう交通の要衝となっており、エリア全体に広がる平野部には、大阪市・神戸市のベッドタウンとなる住居系地域が広がるほか、西日本最大の港湾である阪神港の臨海部や幹線道路の周辺には工業地帯が集積しています。 ・東西方向の道路に比べて、南北方向の道路は鉄道との平面交差や未整備区間を抱えており、交通機能を十分に果たせていません。
	【道路交通の状況】 ・主要な都市を結ぶ幹線道路である国道2号、国道43号、国道171号等では、エリア全体に広がる住居系地域や工業系地域を発着する交通、業務交通、通過交通等が集中し、交通量が多い道路との交差点等では慢性的に渋滞が発生しています。 ・国道2号、国道171号の沿道には商業施設が連坦し、休日においてはこれら施設へ向かう交通による渋滞が発生しています。

3. 西宮・尼崎エリアの主要渋滞箇所と対策案



2. 現在の主な対策等

概要	
総合対策等	◆阪神間都市計画区域マスタープラン ・公共交通の利用促進や自動車利用抑制策の推進により、持続可能で環境負荷を低減した都市構造への転換を図る。 ・広域幹線道路から区画道路までの道路網整備を、合理的かつ機能的な交通体系の確立のために推進。 (ソフト対策) 鉄道駅等の交通結節点での乗り換えの利便性向上、駅前広場や駐車施設の充実による公共交通の利用促進、パーク・アンド・ライドなどの自動車利用抑制等 (道路整備) 名神湾岸連絡線、国道176号名塩道路、(都)尼崎宝塚線街路事業等
	◆その他の主な取り組み 環境ロードプライシング：阪神高速5号湾岸線 都市計画道路の整備：(都)猪名川左岸線街路事業、(都)伊丹飛行場線街路事業 (都)尼崎伊丹線街路事業、(都)園田西武庫線街路事業 ボトルネックとなる交差点の改良：市道幹11号線交差点改良事業 等

対応方針

- 広域幹線道路や都市計画道路等の整備のほかボトルネック交差点の改良等、交通容量の拡大や交通の円滑化を図る取り組みを進めて参ります。
- 公共交通の利用促進等の「阪神間都市計画区域マスタープラン」における自動車利用を抑制する取り組みのほか、渋滞対策協議会でソフト・ハードを含めた更なる渋滞対策の検討及び効果検証に取り組んで参ります。

地域別(神戸・芦屋エリア)における渋滞対策の対応方針について(案)

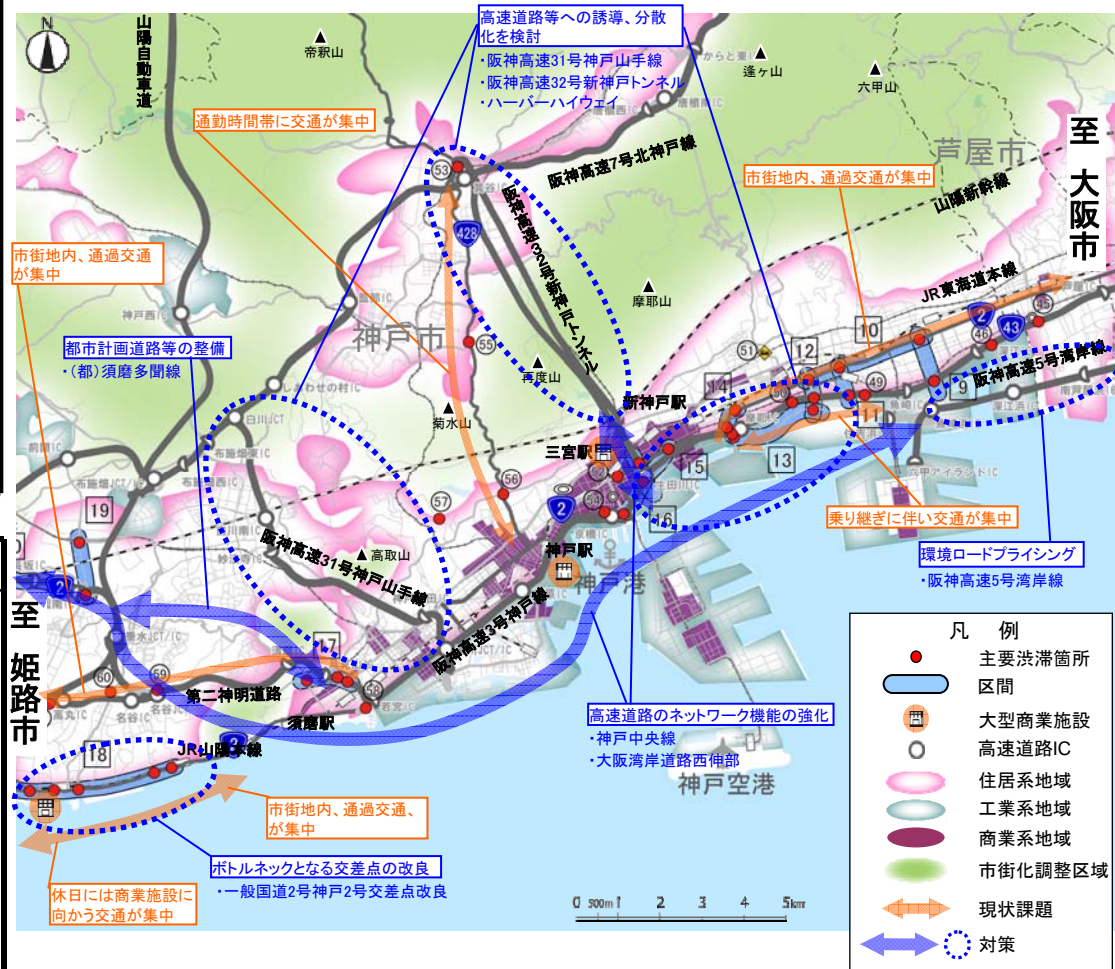
1. 神戸・芦屋エリアの概況

概要	
地域特性及び道路交通状況	【地域特性】 ・神戸・芦屋エリアは、兵庫県の県都である神戸市を中心とし、エリア北部や西部には神戸市中心部のベッドタウンとなる住居系地域があるほか、阪神工業地帯の一翼を担う神戸港臨海部には、重工業や食品加工関連の工場が立地しています。 ・また、東西の主要幹線道路は、臨海部の狭隘な平野部に広がる住居系地域と工業系地域の境界を通過し、その周辺には鉄道駅、商業施設も多く存在しています。
	【道路交通の状況】 ・東西方向を結ぶ阪神高速5号湾岸線の端末となる六甲アイランド以西では、残る東西軸の国道2号や国道43号、高速道路の乗り継ぎ区間に、市街地内や通過交通が集中し、慢性的に渋滞が発生しています。 ・地形的な制約により、エリア北部や西部のベッドタウンと、臨海部商業系地域を結ぶ幹線道路が限られていることから、例えば国道428号では平日の朝夕の通勤時間帯において、ボトルネックとなる交差点で渋滞が発生しています。 ・また、エリア西部の大型商業施設の周辺道路では、休日においても渋滞が発生しています。

2. 現在の主な対策等

概要	
総合対策等	◆神戸都市計画区域マスタープラン ・公共交通の利用促進や質的向上に努めることで、持続可能で環境負荷を低減した都市構造への転換を図る。 ・機能的な都市活動を確保するため、幹線道路の整備により交通需要を効率よく分散。(ソフト対策)鉄道駅等の交通結節点での乗り換えの利便性向上、駅前広場や駐車施策の充実による公共交通の利用促進等 (道路整備)大阪湾岸道路西伸部、(都)須磨多聞線 等
	◆神戸市基本計画(みちづくり計画) ・既存ストックをできるだけ活用するとともに、交通容量の不足する箇所では、交差点対策やネットワーク対策、有料道路への転換により、自動車交通を円滑化。(ソフト対策)パーク・アンド・ライド、駅前広場整備など交通結節機能の強化、公共交通の乗り継ぎ円滑化 等
	◆その他の主な取り組み 高速道路への誘導・分散化を検討：阪神高速32号新神戸トンネル 等 ボトルネックとなる交差点の改良：一般国道2号神戸2号交差点改良 等

3. 神戸・芦屋エリアの主要渋滞箇所と対策案



対応方針

- 大阪湾岸道路西伸部等の高速道路のネットワーク強化をはじめ、幹線道路や都市計画道路等の整備、交差点改良や、交通分散化や交通容量の拡大による渋滞軽減への取り組みを進めて参ります。
- 交通結節点における乗り換えの利便性向上や高速道路への交通の誘導・分散化等の「神戸都市計画区域マスタープラン」、「神戸市基本計画(みちづくり計画)」の各種取り組みのほか、渋滞対策協議会でソフト・ハードを含めた更なる渋滞対策の検討に取り組んで参ります。

地域別(播磨臨海エリア)における渋滞対策の対応方針について(案)

1. 播磨臨海エリアの概況

	概要
地域特性及び道路交通状況	<p>【地域特性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 播磨臨海エリアには、国際拠点港湾である姫路港と東播磨港の臨海部に日本経済を牽引する企業の製造拠点が集積しており、そこでの製造品出荷額は県下第一位となっています。 臨海部に工業系地域、その北側に住居系地域が東西に広がっており、東西方向を結ぶ主要幹線道路である国道2号バイパスは住居系地域を通過しています。 <p>【道路交通の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住居系地域を通過する国道2号バイパスでは、通過交通、工業地帯の関連交通、市街地交通が集中し、バイパスへの出入り交通が多いランプが接続する交差点では、平日及び休日ともにほぼ終日にわたり渋滞が発生しています。 南北方向では、国道2号バイパスと臨海部にアクセスする幹線道路で平日及び休日の終日にわたり渋滞が発生しているほか、エリア北部と臨海部を結ぶ国道29号や国道175号では、平日の朝夕の通勤時間帯において、渋滞が発生しています。

2. 現在の主な対策等

	概要
総合対策等	<p>◆都市計画区域マスタープラン(西播磨・東播磨地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ユニバーサル社会に対応した交通体系構築のため、公共交通網の充実を推進。 高速道路網の拡充を図るとともに、隣接都市間の連携を強化するための主要幹線道路等の整備を推進。 (ソフト対策) 駅前広場や駐車施策の充実による公共交通の利用促進 等 (道路整備) 播磨臨海地域道路、東播磨南北道路 等 <p>◆神戸市基本計画(みちづくり計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存ストックをできるだけ活用するとともに、交通容量の不足する箇所では、交差点対策やネットワーク対策、有料道路への転換により、自動車交通を円滑化。 (道路整備) 神戸西バイパス、国道175号、(都)玉津大久保線 等 <p>◆公共交通を中心とした姫路市総合交通計画</p> <ul style="list-style-type: none"> クルマ中心の交通体系から、環境や人に優しい公共交通中心の交通体系への移行をめざし、公共交通の利便性向上に向けた取り組みを推進。 (ソフト対策) 郊外鉄道駅へのパーク・アンド・ライド推進による都心流入車両の抑制 等 (ハード施策) 姫路駅など主要駅の交通結節点整備による公共交通の利用促進 <p>◆その他の主な取り組み</p> <p>バイパスの整備: 一般国道29号姫路北バイパス 等</p>

3. 播磨臨海エリアの主要渋滞箇所と対策案



対応方針

- 隣接都市間の移動円滑性を強化するため幹線道路の整備や、ボトルネックとなっている交差点の改良や道路の拡幅、バイパス等の整備等の取り組みを進めて参ります。
- 鉄道駅の周辺整備による公共交通の利便性を向上させる取り組み等の「都市計画区域マスタープラン(西播磨・東播磨地域)」、「公共交通を中心とした姫路市総合交通計画」の自動車交通を抑制する各種取り組みのほか、渋滞対策協議会でソフト・ハードを含めた更なる渋滞対策の検討に取り組んで参ります。

地域別(但馬エリア)における渋滞対策の対応方針について(案)

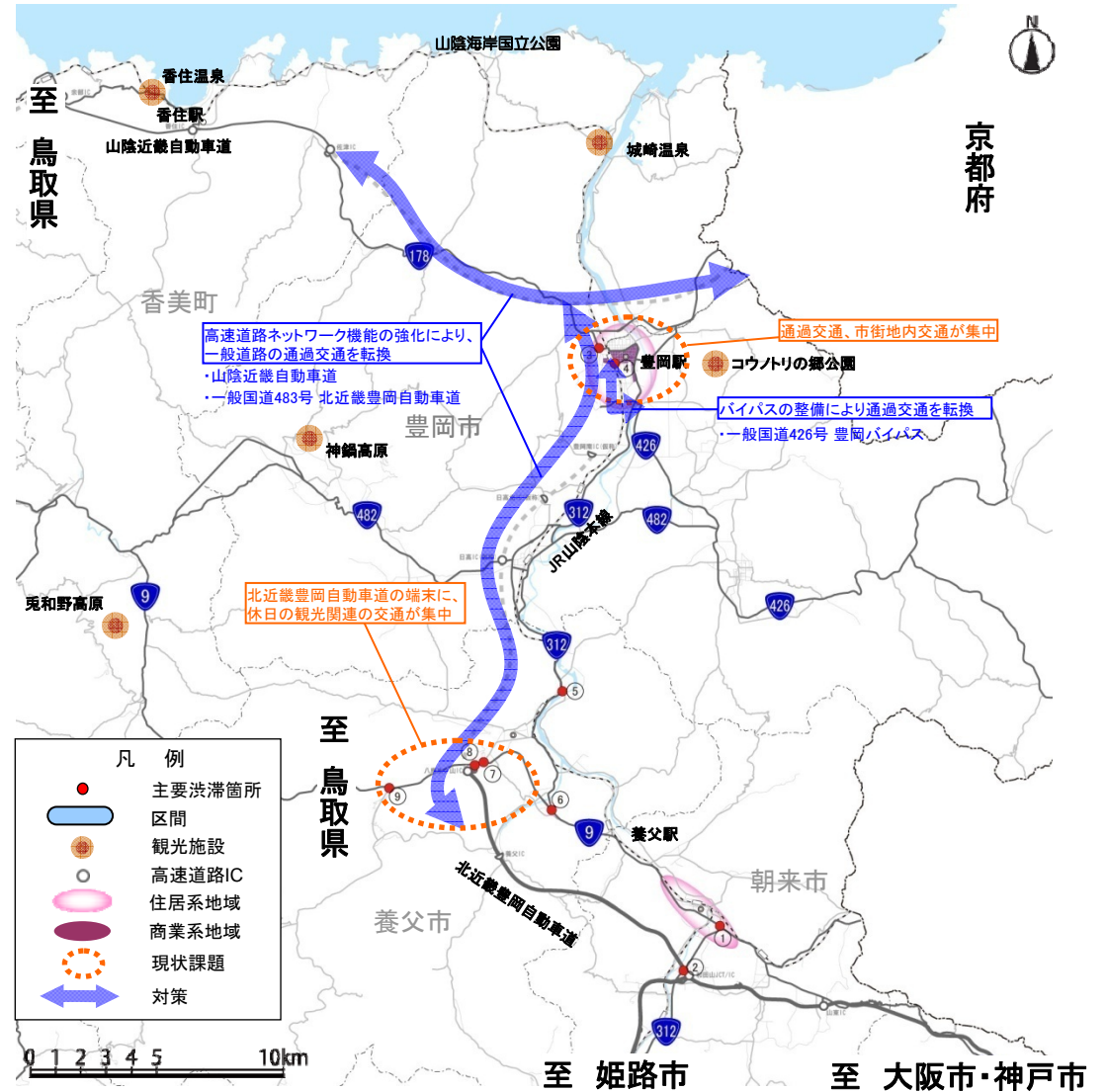
1. 但馬エリアの概況

概要	
地域特性及び道路交通状況	【地域特性】 ・但馬エリアは、京都府と鳥取県に隣接し、兵庫県北部地域の中心都市である豊岡市を中心とするエリアです。 ・東京都の総面積に匹敵する広大なエリアには、山陰海岸国立公園等の豊かな自然や、全国的にも有名な城崎温泉等の観光資源が点在しています。
	【道路交通の状況】 ・国道9号では、北近畿豊岡自動車道の端末となる八鹿水ノ山IC周辺において、日本海沿岸の各地域と京阪神へ向かう交通等が集中し、休日には観光関連の交通による渋滞が発生しています。 ・但馬エリアの中心である豊岡駅周辺においても、市街地内交通や通過交通に限られた幹線道路に集中し、ボトルネックとなる交差点では平日及び休日のほぼ終日にわたり、渋滞が発生しています。

2. 現在の主な対策等

概要	
総合対策等	◆都市計画区域マスタープラン(但馬地域) ・広域的な幹線道路や、地域の骨格となる幹線道路の整備を推進。 ・ユニバーサル社会に対応した交通体系構築のため、公共交通等の充実を推進。 (道路整備) 山陰近畿自動車道、北近畿豊岡自動車道 国道426号(豊岡バイパス) 等 (ソフト対策) 公共交通の利用促進 等

3. 但馬エリアの主要渋滞箇所と対策案



対応方針

- 限られた幹線道路への交通集中を軽減するために、高速道路のネットワーク強化やバイパスの整備等の取り組みを進めて参ります。また、公共交通の利用促進等の推進により、機能的な交通体系を確立して参ります。
- 公共交通の充実等の「都市計画区域マスタープラン(但馬地域)」の機能的な交通体系を確立する取り組みのほか、渋滞対策協議会でソフト・ハードを含めた更なる渋滞対策の検討に取り組んで参ります。